

草津川跡地（区間6）整備事業

PPP・PFI事業者の募集

滋賀県草津市



実施設計が令和5年度完了し、いよいよ整備に着手します。

ひと・まち・ときをつなぐ

絆をつむぐふるさと健幸創造都市 草津

※※※実施設計の進捗に合わせて当日までに資料を更新します※※※

【導入機能検討事項】

- ①天井川・旧東海道（歴史）が感じられる空間
- ②市民・地元地域が参画しやすい空間
- ③回遊性やサステイナブルな公園運営

にぎわい拠点・商業

- ①駐車場・トイレなどの便益機能
- ②案内板・情報発信機能
- ③集客スペースなどの民間機能**
- ④日陰などの休養機能
- ⑤跡地の利活用により、市街地・観光の活性化

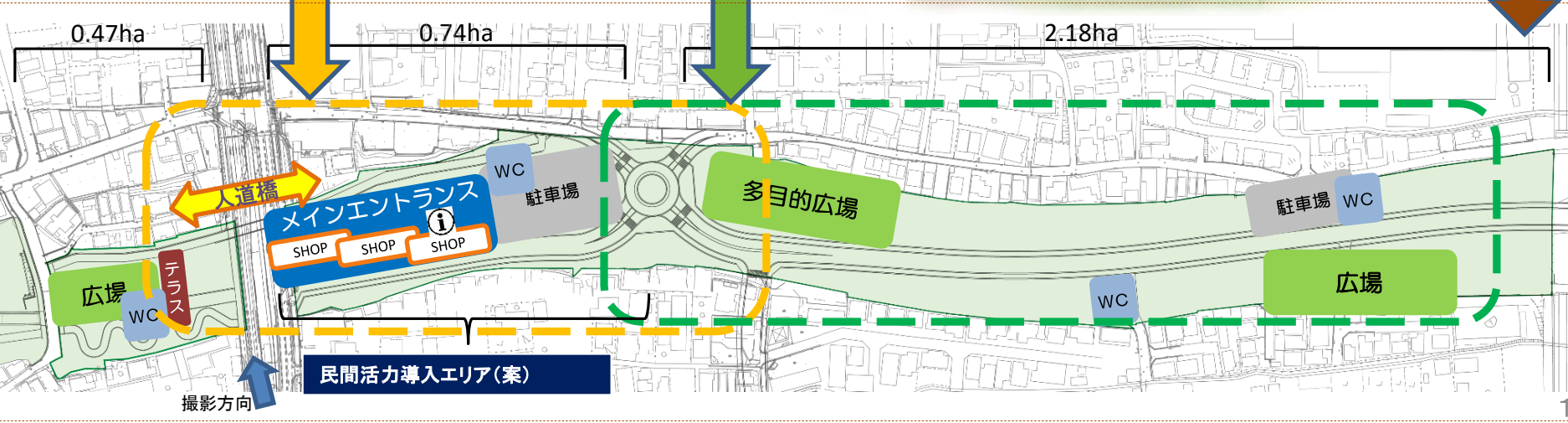
地域コミュニティ

- ①行政界を超えた公的サービスの付加
駐車場・トイレなどの便益機能
- ②多目的広場・スポーツなどの遊戯機能
- ③防犯プライバシーの機能

防災

- ①災害用道路の機能
- ②一次避難地としての機能（施設・空間）
- ③火災時の延焼防止の機能（緑地空間）

【ターゲットエイジ】
子育て世代 若年世代



2 草津川跡地公園の概況

(1) 草津川跡地の位置

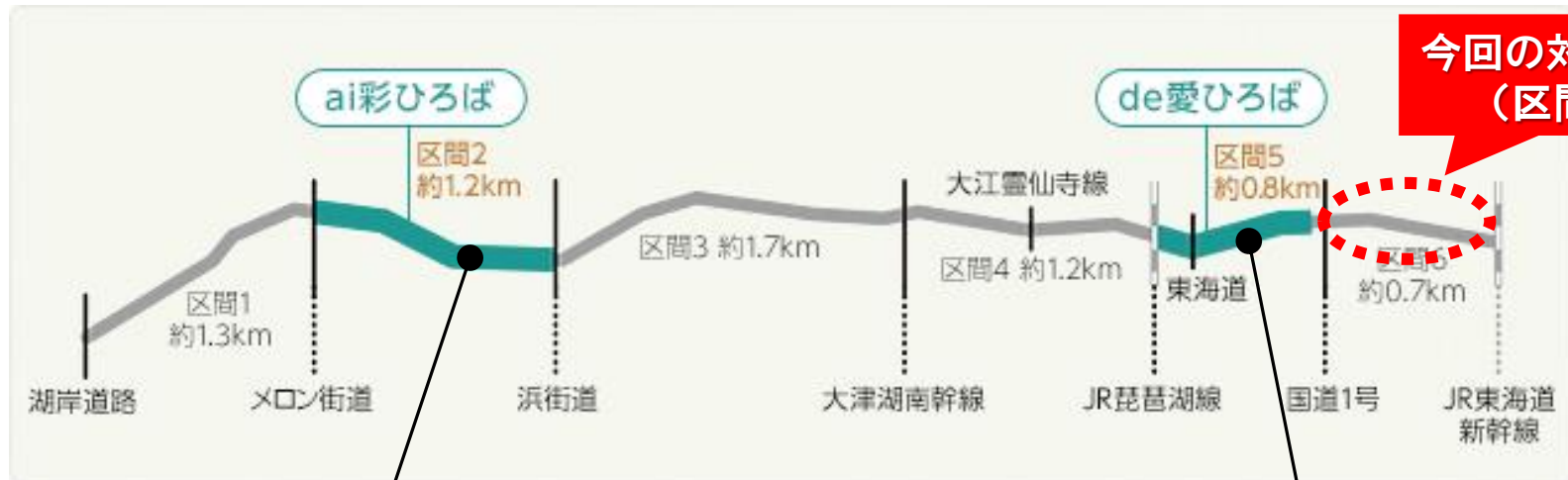
- 琵琶湖からJR 東海道新幹線までの全長7.0km(幅員約 60m~110m、面積約 40.0ha)
- 国道1号や中山道、JR琵琶湖線など、主要交通網と交差
- 一部、中心市街地エリア内に位置する



2 草津川跡地公園の概況

(2) 整備済みエリアの現状

- ・全6区間のうち、平成29年4月1日に【区間2】と【区間5】が開園しています。



2 草津川跡地公園の概況

(2) 整備済みエリアの現状

【区間2: ai彩ひろば】

草津川跡地公園のメロン街道から浜街道までの約1.2kmのエリア

テーマ：「農と人の共生」

- ・園内には、市民活動の場となるにぎわい活動棟やスクールガーデン、広場などがある。
- ・3つの民間活動エリアがある。

民間活動エリアA・B

草津川の記憶を継承し、心地よい水の流れがある親水空間
商業施設「GREEN LOFT THE PARK」(2017.11オープン)

民間活動エリアC

農園カフェ「ストロベリーファクトリー」(2019.4オープン)



にぎわい活動棟



交差点広場



スクールガーデン



GREEN LOFT THE PARK



ストロベリーファクトリー



2 草津川跡地公園の概況

(2) 整備済みエリアの現状

【区間5: de愛ひろば】

JR琵琶湖線から市道大路16号線までの約0.8km

テーマ：「人と人の交流」

・市民活動の場となるにぎわい活動棟やイベント広場、ストリートファニチャーや様々なテーマで整備された多様なガーデンエリアなどがあり、人々が集い・楽しめるにぎわい空間となっている。

ガーデンエリア

四季折々の草花で季節を感じることができる、まちなかで自然を感じる憩いの空間エリア

にぎわい活動棟エリア

にぎわい活動棟を中心に人々が集うことができるエリア

イベント広場

メインエントランスからつながる、草津のにぎわいが生まれる場所となるエリア

クサツコリバ店舗エリア

“憩い・癒し・発見・交流”がテーマの、新しいカタチの商業店舗があるエリア
商業施設「クサツコリバ」



にぎわい活動棟



イベント広場



ガーデンエリア